

第2回 食の安全・安心の確保に関する条例検討会事項書

平成19年12月19日

- 1 条例案検討の方向性について
- 2 次回日程について
- 3 その他

とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する条例

第一条（目的）、第二条（定義）、第四～六条（県、事業者、県民の責務）

第三条（基本理念）

県民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下に県及び事業者において必要な措置が講じられること
食文化や食習慣を踏まえた食と農に対する理解を促進させる活動及び食育の積極的な推進によって、県、事業者及び県民がそれぞれの責務若しくは役割を果たし、又は相互の信頼の下に取り組むこと
科学的知見に基づき、県が国及び市町村と連携協力を緊密にして適切な施策を講ずること
県及び事業者における積極的な情報の公開並びに県民との意見の交換、公表等による情報の共有化を推進して共通認識の形成を図ること
食品の生産の方法及び流通の過程において、循環型社会の視点に配慮すること

第八条（基本計画）

（推進体制）

環境への配慮（第七条）
体制の整備及び連携の強化（第十二条）
人材の育成（第十四条）

（自主管理の推進）

自主基準の設定及び公開（第十五条）

（安全・安心対策の推進）

生産及び供給体制の確立（第九条）
監視・指導・検査の強化（第十条）
危害情報の申出（第十七条）

（安全・安心な食品の生産及び供給の支援）

食育等の推進等（第十六条）

（相互理解、連携及び協働の推進）

情報の共有及び相互理解の促進（第十一条）
県民参加（第十三条）
施策の提案（第十九条）

調査審議・意見

調査審議・意見

報告

第二十条（とちぎ食の安全・安心会議）

第十八条（議会への報告）

岐阜県食品安全基本条例

第一条（目的）、第二条（定義）、第四～六条（県、事業者、県民の責務）

第三条（基本理念）

食品の安全性の確保等は、このために必要な措置が、食品が生命及び健康の基本であるという共通認識の下に講じられることにより、行わなければならない。

食品の安全性の確保等は、県民、食品関連事業者、県等すべての関係者の信頼と相互理解の下に達成されなければならない。

食品の安全性の確保等は、食品の安全性に関する情報の積極的な開示と県民の意見に対する十分な配慮の下に行わなければならない。

第二十条（基本計画）

（推進体制）

財政上の措置（第九条）
危機管理体制の整備（第十六条）
調査研究の推進等（第十七条）
食品の安全性に関わる人材の確保及び育成（第十八条）
推進体制の整備（第十九条）

（安全・安心対策の推進）

安全な食品の生産（第十条）
検査及び監視の体制の整備（第十一条）
適正表示の推進（第十二条）

（相互理解、連携及び協働の推進）

市町村との連携（第七条）
国等との協力（第八条）
県民と食品関連事業者の信頼確保（第十三条）
積極的な情報開示及び知識の普及（第十四条）
県民の意見の反映（第十五条）

報告

第二十一条（議会への報告）

高知県食の安全・安心推進条例

第一条（目的） 第二条（定義） 第四～六条（県、生産者、県民の責務）

第三条（基本理念）

健康の保護が最も重要であるという認識の下での必要な措置、 生産者・事業者の責務の遂行
消費者に信頼される安全・安心な食品の生産及び供給の拡大、 すべての関係者の相互理解、連携及び協働

第七条（食の安全・安心推進計画）

第八条～第十二条
（推進体制）

危機管理体制の整備等
調査研究の推進等
情報の提供
財政上の措置
環境への配慮

第十三条・第十四条
（自主管理の推進）

自主的な衛生管理の推進
表示及び情報の記録等

第十五条～第二十一条
（安全・安心対策の推進）

生産から販売に至る監視、指導等
適正表示の確保
認証制度の推進
供給の禁止
危害情報の申出
立入調査等
勧告及び公表

第二十二条・第二十三条
（安全・安心な食品の生産及び供給の
支援）

食育の推進等
農林水産業の支援

第二十四条～第二十六条

（相互理解、連携及び協働の推進）
情報及び意見の交換の推進
国等との連携等
関係者との協働

調査審議・意見

調査審議・意見

第二十七条～第三十二条（高知県食の安全・安心推進審議会）